

全景



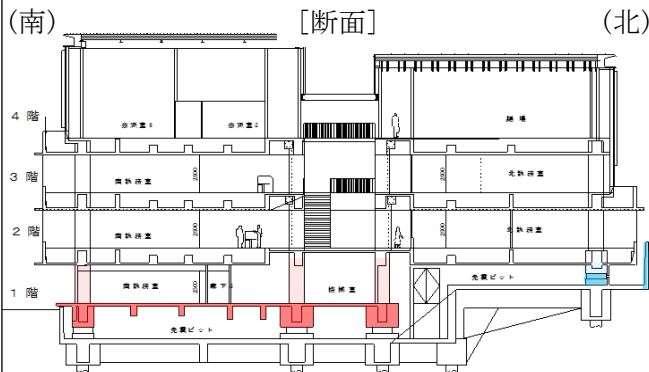
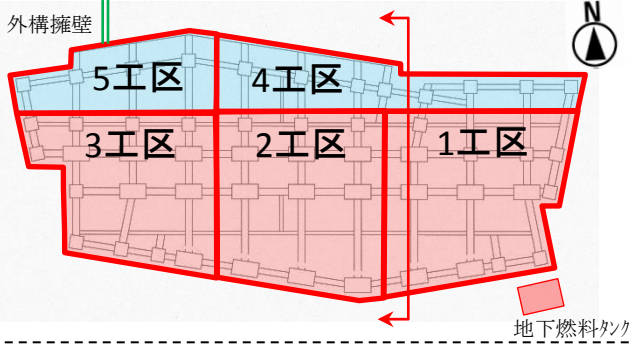
石岡市新庁舎建設工事
平成30年10月 完成予定

【進捗状況 No.05】

平成30年1月4日現在

- 南側：1階床CON打設
- 北側：免震装置の取付け
- 外構：L型擁壁の設置

1階床のコンクリート打設工事や免震装置の取付け、外構L型擁壁の設置が完了しました。今後は2階へ延びる柱や壁の型枠・配筋作業を進めていきます。



【作業状況】南側(赤色)では、1階梁・床のコンクリート打設、燃料タンクの設置、北側(青色)では、免震装置の取付け作業が完了しました。



【免震装置の取付け(北側)】

建物北側の免震装置を設置しました。南側と合わせて合計44箇所の取付けが完了しました。



【柱の配筋作業】

2階へむかって柱の鉄筋工事が進められています。杭及び免震装置の上部に柱を立てることで、建物の重量を支える構造となっています。



【外構擁壁工事】

新庁舎から北側の道路に向かって、L型擁壁を約6.7m設置しました。一番背の高いもので5mの高さになります。

【1階梁・床コンクリート打設作業の様子】

南側の1階梁・床（免震装置の上部）コンクリート打設作業を行っています。高品質なコンクリートに仕上げるため、作業員さんが役割分担し、丁寧かつ効率よくコンクリートの打ち込み作業を行っています。床スラブの厚さは15センチあり、梁部分と床スラブにコンクリートを同時に流し込むことで構造体が一体となります。



【非常用発電設備 地下燃料タンクの設置状況】

非常用発電設備の燃料タンク（4000ℓ）を庁舎南側に設置しています。非常用発電機本体及び燃料小出槽（1950ℓ）を免震建物内に設置し、合計5950ℓの燃料を蓄え、災害等による停電時でも、重要な行政機能が継続できるように、72時間の運転が可能となります。随時、消防署の検査を受けながら、工事を進めています。

